

• 歯科技工士とは

歯科医療の一端を担う専門職

歯科技工士は、歯科医療の一端を担う医療技術専門職です。歯科医師の指示書にしたがって、入れ歯、歯の被せ物、歯の詰め物、矯正装置などの作成や加工、修理を行います。

高度な精密技工技術とともに、患者さんごとに異なる歯の色や形を把握する繊細な審美感覚が求められる仕事です。

医療人としてのやりがい

人は、咀嚼（噛み砕くこと）、嚥下（飲み込むこと）、呼吸、発音、感覚、姿勢維持、身体運動能力、そして審美が維持されることにより、日々の生活の質が向上します。また、それらは人生の満足度にまで影響を及ぼします。そのため、歯科医療の果たす役割はますます重要になってきています。

歯科技工士の仕事は、こうした歯科医療を支え、人々の健康と幸福に貢献できる仕事です。

歯科技工士が作成する主なもの

クラウン（歯の被せ物）

一般に「銀歯」と呼ばれているものです。歯全体に人工の冠（クラウン）をかぶせ、歯の形や機能を回復します。奥歯は、西洋の王様の「王冠」に似ていますね。

ブリッジ

歯の無いところに歯の形と機能を回復するために、残っている近くの歯に橋脚の役割を求め、橋（ブリッジ）のようにつなぐものです。

総義歯（入れ歯）

歯が1本も無くなった場合の入れ歯です。皆さんがもっともイメージしやすいものだと思います。

局部義歯（部分入れ歯）

失われた歯の部分の機能を回復するため、残っている歯や顎などを支えに、歯の形と機能を回復するものです。

インプラント

顎の骨に支柱を植え、それを支えに歯の形と機能を回復するものです。

矯正装置

歯並びや顎の位置がずれている場合に、適切な位置にするための装置です。取り外しができるものや、歯に直接取り付けるものなどがあります。

マウスガード

スポーツをする際に、口の中の怪我を防止するために装着するものです。

エピテーゼ

エピテーゼとは、生まれつき、または病気や事故によって失われた顔や体の一部を、人工の材料を使って形態などを補う方法です。

保険適用されるエピテーゼの製作には義肢装具士があたりますが、製作方法や使用材料、器材は歯科技工作業と共通しているものが多いため、保険適用されないエピテーゼの製作には歯科技工士も活躍しています。